

## 自己評価結果公表シート（平成29年度）

学校法人あけぼの学園 あけぼの幼稚園

### 1. 本園の教育目標

自分の良心に基づいて自律的に行動する「自由な人間」になることを目指します。

### 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・職員1人1人が“あけぼの”の原点を振り返り、同僚と保育について語る場をもつ。
- ・子育て中の職員も仕事がしやすい環境作りを行う。（仕事の見直し）
- ・園内の環境変化に伴って、安全確保と遊びの充実を図る。
- ・地域とのコミュニケーションをとる。

### 3. 評価項目及び取組状況

評価項目	取組状況
(職員の) 専門性の向上	保育終了後の時間を打ち合わせ等に有効に使うことができるよう、短時間職員等の動きを見直した。 話し合いの場で1人1人が想いや考えを伝えられるよう同僚性の向上を意識した打ち合わせスタイルなどを通して工夫した。 園内研や外部研修等を主任中心に定期的に取り入れ、あけぼのが大切にしていることを再度全職員で確認し意識した。
園内研修の充実	研修したいテーマを1人1人が考え提案できるような園内研修スタイルを取り入れ、職員一人一人の悩みや知りたいという点に焦点を当てて取り組んだ。 保育内容に留まらず、社会常識やコミュニケーション研修など様々な内容の園内研修を行った。
仕事の見直し	慢性的に定時に帰ることができない状況があるため、仕事内容・環境整備等、様々な面から見直しを行ってきた。保護者への配布物の見直しとウェブ化、ノンコンタクトタイムの導入、各種アンケートのウェブ移行などを実際に導入できた。
職員の業務分担及び処遇改善	新制度への移行に伴い、人員の増加によって職員間での業務分担が不明瞭となり、力を発揮しきれていない姿が見られていたことから、それぞれの役割を明確にすると同時に、短時間の職員にも指導が行える様、打ち合わせ定期的に行い、全員が目標に対して自覚をもって保育を行えるようにした。また、処遇改善を行うために各スタッフに通常業務以外の担当職務を課し、職務に応じた手当を付けることで給与面の処遇の改善にもつなげた。ただしまだまだ一般的な企業との処遇面での開きは否めないため、今後も積極的に処遇の見直しを行っていく。
地域との関わり	様々な整備工事に伴い、地域の方々からの苦情や意見が当初より予想された。職員1人1人がその自覚をもち、近隣の方への挨拶等を通して、園への理解と、地域で子育てを行う拠点としての協体制を作り上げていくことができるように意識した。また、整備に関わる業者さんとの具体的な配慮や手立てをしっかりと共有し、騒音に繋がるような場合には事前に近隣に対して通知するなどして対応したことにより、整備工事による苦情などは出なかった。今後も地域の方々との共存を目指して、積極的にコミュニケーションをとっていくことができるよう心掛けたい。

### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

年度当初に立てた各目標や計画については、概ね達成率の高い結果となった。ただし、職員の質向上や地域との共存のための働きかけについては終わりのない目標であり、常に高い目標を設定し続けておく必要がある。従って今後も職員一同、同じ目標を共有しながら園運営にあたる必要があると言える。特に園庭の拡張と新園舎（東の棟）という新しい環境が訪れ、一層の地域との共存を意識した運営も大切にしていきたい。

### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
室内環境の見直し	環境評価スケールECERSの尺度を取り入れ、今まで感覚的な部分に頼っていた室内環境について、子どもの姿を大切にしつつも一定の尺度、スケールを使って具体的に環境構成を意識していく。
ミドルリーダーの育成	年次的には中堅と呼ばれる4-7年目程度の職員の層は分厚いものの、後輩への指導育成といった意識には乏しく、現場で意見を活発に出し合う潤滑油の役割を積極的に進んで担う意識に乏しく、中堅自身も自らの保育で手一杯な印象さえ受ける場合がある。分散型リーダーシップを取りながら組織を更に高め、強くしていく必要があるため、ミドルリーダー（中堅職員）の意識改革及び育成を行っていく。
保護者との連携を図る	新制度導入による「保護者の会」の見直しを3年かけて進めていく最後の1年となる。1号・2号の保護者が混在する中で共に歩み寄り、「あけぼの」が創立から大切にしている保護者の活動をより充実しつつ、誰もが気軽に楽しく参加できるよう保護者と共に継続して知恵を絞っていく。
地域とのコミュニケーション	上記にも記載の通り、継続した地域とのコミュニケーションがより必要となっている昨今の情勢に加え、新園地や新園舎といった地域に対する少くなくか影響を自覚しながら、丁

ロシアに地域に対する十分な影響を認めつつ、  
寧に地域の方々の共存を意識した対応を心掛ける。